

自分と家族の安全を守るために ～事前準備～

災害から自分たちの身を守るためには「避難」することが原則です。事前に準備を行い、万が一の際、迅速に避難できるようにすることが肝心です。

○ハザードマップ、避難場所、避難ルートの確認

ハザードマップで、災害時の危険箇所や避難場所（避難所）、避難ルートを確認しましょう。本宮市には水害とその他災害で避難場所が違う地域もあります。

※ハザードマップは本宮市ホームページでダウンロードできるほか市役所でも配付しています。

○勤務先や通学先での確認、準備

勤務先や通学先などの頻繁に通う場所の避難場所や避難ルートの確認もしておきましょう。

○家族との連絡方法を決めておきましょう

災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などの連絡手段があります。

いざという時の連絡方法をあらかじめ家族と決めておきましょう。詳しい使い方は使用されている電話会社にご確認下さい。

○非常持ち出し品、備蓄品の準備をする

普段から非常持ち出し品や備蓄品の準備をしておきましょう。

特に、非常持ち出し品は避難場所までの距離や体力を考え、持って避難できるだけの量にしましょう。

●災害用伝言ダイヤル 171

災害時に音声発信がつながりにくい時、伝言を録音し、家族などが伝言を再生できるサービスです。

●災害用伝言板

災害時に音声発信が繋がらないとき、携帯電話やパソコンなどから「無事です」などの安否情報を伝達できるサービスです。

●災害用音声お届けサービス

携帯電話などから音声通信に代わってパケット通信により音声メッセージを届ける災害時専用のサービスです。



自分と家族の安全を守るために ～災害が発生したとき～

○まずは身の安全を確保し、正確な情報を集めましょう

地震や竜巻など、いきなり発生する災害の時は、まず自分の身の安全を確保しましょう。

○避難するときはみんなで一緒に行動する

単独で避難することは危険を伴います。

万が一川に流されてしまったり、怪我をってしまった時に助けを呼べなければ命に関わる事態を招きかねません。

緊急時には、持ち出し品の準備に時間をかけず、迅速かつ複数人で行動することが大切です。

○避難したら「戻らない」

大事なものを忘れても、取りに帰るのは危険が伴います。安全が確保されるまで避難場所から自宅などに戻るのには避けましょう。また、車での避難は交通渋滞や道路冠水により動けなくなる可能性がありますので、できるだけ控えましょう。

○万が一逃げ遅れたときは

万が一避難が遅れ、危機が迫ったときには自宅の2階などへの在宅避難や高所避難（垂直避難）が安全な場合もあります。

問 防災対策課 消防防災係 ☎24-5365 白沢総合支所 市民福祉課 ☎44-2114

ここから下は広告欄です。内容についてのお問い合わせは、直接、広告主の方へお願いします。

つるつる
SPF100をGET!!!

女性お顔そり承り中!

夏が過ぎ、これからの季節はお肌が乾燥してきます。カサつき肌はNGです!
エステシェーピングで即解消!美Faceに♪

レディースエステシェーブ
(お顔そり+クレンジング・フェイスマッサージ)
(コラーゲンパック・肌水分チェック)
2,800円～

WATANABE ハアーサロン ワタナベ
HAIR SALON TEL 0243-33-3459 本宮字中条79(二本松信金向い)

全国Solar net
加盟店

太陽光パネル洗浄・蓄電池

- キャンペーン
太陽光発電システム
最高22万円キャッシュバック
※詳細はお問い合わせください。
- 豊富な施工実績。
- 太陽光パネル洗浄のプロ。

お問い合わせ **株式会社レジデンス茶園** ☎0243-22-7483
二本松市茶園一丁目102-1 連絡先 080-6004-9014 e-mail:r-saen.so@zpost.plala.or.jp

プラスチック製容器包装物をステーションに出す際に、医療系廃棄物や危険品を混入させないでください。

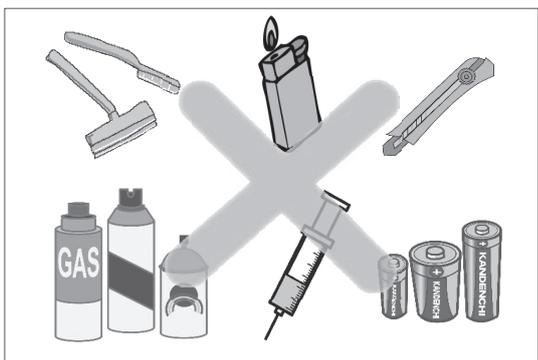
ステーションに排出されるプラスチック製容器包装（♻️マークがあるプラスチック製の容器や包装物）の指定袋の中に、医療系廃棄物や危険品の混入が確認されています。

◇医療系廃棄物とは

注射針、注射器、点滴セット（チューブ・針等含む）など、感染症に繋る恐れのあるもの

◇危険品とは

ライター、ガスボンベ、スプレー缶、電池・バッテリーなど、刃物、カミソリ、ラップカッター、ガラスの破片など



過去に実施した品質調査での実例

危険品：スプレー缶、カミソリ、鏡、カッターナイフ、乾電池、ラップカッター

医療系廃棄物：注射器、医療用ホース

医療系廃棄物や危険品が混入してしまうと・・・

- 日本容器包装リサイクル協会による品質調査の評価が最低ランクになり、プラスチック製容器包装の処理に影響が出てしまいます。
- プラスチック製容器包装は、人の手による選別・仕分けを行っており、作業員がケガする など、重大な事故が発生する恐れがあります。

禁忌品の処理について

- 医療系廃棄物については、医療機関等へ引き取りを依頼してください。
- 危険品については、下記のリンク先

「http://www.union.adachi.lg.jp/environment/gomi_bunbetsu_h26.4n.pdf」をご確認いただき正しい処分をお願いします。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

問 もとみやクリーンセンター ☎ 33-5499
生活環境課 環境係 ☎ 24-5362

ごみ処理施設で爆発事故が発生

今年7月8日、もとみやクリーンセンターの破砕機で爆発事故が発生し、修理のため破砕ごみの処理が3週間に渡ってストップしてしまいました。（被害額…1千万円）

爆発事故の原因は、可燃性ガスが残ったままのスプレー缶（穴が開けられていない）が混入し、破砕処理中、金属同士がぶつかりあった際に出る火花がガスに引火したことによると思われます。

このような事故を防ぐため、スプレー缶をごみとして出す際には、中身を切り、戸外で安全に十分配慮し缶本体に穴を開けてから、指定袋（破砕するごみ…ピンク色）に入れてごみステーションに出すようお願いいたします。

※残ったガスを排出する場合には風通しが良く、広く、火気の無い戸外で、風下に向かって、人にかからないように行ってください。

問 生活環境課 環境係
☎ 24-5362

